

ARTS for HOPE 活動報告書

2021年2月19日-23日

宮城県仙台市 せんだいメディアテーク『希望へつなぐアート』展

2月13日に発生した地震の影響を受けて、急遽会場を変更して開催に漕ぎつけた仙台展。5日間の開催で1,300人を超える来場があり、盛況のうちに幕を閉じました。10年に及ぶ取り組みを、作品や写真、言葉で伝えた展覧会。多くの方々を知ってもらい、アートで挑み続けた心の応援活動に、希望の力を感じていただけた展覧会となりました。



作品にエネルギーを感じた。
頑張りましょう、
次の10年に向けて。
*来場者感想ノートより

生きていくために大切なもの。
ARTに力をもらいました。



涙がたくさん出ました。
ありがとう。

希望へつなぐアート

日本大震災復興支援プロジェクト ARTS for HOPE 2010

言葉に涙がこぼれそうになった。
作品のパワーに元気をもらいました。

アートで人の心を変えられるのかと感動した。私自身被災して先日の地震で不安が戻ってしまったので励まされました。



圧倒される力の中に優しさがあって元気をもらいました。





観ているだけで元気になれる。
そんな作品が満載でした。

感動した。子どもたちや高齢者の方々の表情が希望に満ち溢れている。



100冊限定で制作した記念版。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、ステイホームでも安心して展覧会を鑑賞出来るよう「ペーパーミュージアム」に仕立て、特別編集した図録。震災支援から生まれた〈ワンダーアートスタジオ〉のアーティストが描いた作品で包み込んだ。



今日見たもの、
感じたものを糧に、
また明日から頑張れ
そうです。

10年のエネルギーが溢れて
いて、力をもらった。
たくさんの笑顔と色にア
ートの力を感しました。





震災から10年。家族と心を合わせて頑張っていきたい。



震災を忘れようとしていた心に響きました。





アートのか
のすごさ。
子どもたち
の表情に救
われると同
時に、元気
を頂きました。



楽しい心をはきだしたよ
うな作品に、自分も楽し
くなりました。





カラフルな世界を走り回って
楽しみました。

震災について
知る機会が持てて
本当に良かった。





ありがとう

「で生きています」

「がんばっぺ」
そう思って今日も頑張っている
たくさんいることを



「の力はすごい」

子どもたちの心に確実に
灯っています

「体」も「心」も
動かすア

温かなエネルギーが作品から溢れていて、空間にいただけでパワーを充電してもらえそうな気持でした。



希望へつなぐアート

日本児童美術展覧会プロジェクト ARTS for HOPE JAPAN

「忘れること」は、自分を守るために大切だと思っていた。でももっと大切なのは「忘れないこと」だと気づいた。



今も忘れないで思っていてくれて
ありがとう

忘れられたと思っていた、誰も来ないと思っていた、感謝日本人に生まれて良かった



アートで心のうちを表現できるのは素晴らしいと感じました。10年の節目にこの活動を知れて良かった。



活動を続けられていることに感謝。

【主催】 ARTS for HOPE
【後援】 岩手県 宮城県 福島県 大船渡市教育委員会 仙台市教育委員会 南相馬市教育委員会 東海新報社 河北新報社 福島民報社 福島民友新聞社 公益財団法人仙台市民文化事業団
【助成】 The Okura Tokyo 「The Okura Tokyo Cultural Fund」 (企業メセナ協議会 2021 Arts Fund) 社会福祉法人中日新聞社会事業団 公益財団法人ノビアグリーン財団 令和2年度南相馬市子育て応援基金

